

～人権はみんなが持つもの守るもの～

川西人権協だより



編集・発行 川西市人権教育協議会 川西市中央町12-1(人権推進多文化共生課内) TEL(072)740-1150 FAX(072)740-1151

第54回川西市人権教育協議会定期総会

5月23日、市総合センターにて第54回定期総会を開催しました。総会では、事業報告、会計報告や活動の総括と方針などが、提案された議事は、全て承認されました。

2024年度からは、協議会における事業費の執行方法や組織構成人員(理事・代議員)などの選出方法など変更もありましたが、今後も全体活動をはじめ専門部活動、地域(校区)活動を進めてまいります。



2024年度 川西市人権教育協議会 常任理事

役職名	名前	所属	役職名	名前	所属
会長	西垣 通豊	学識経験者	就学前教育部長	松田 亜希子	多田保育所
副会長	岡坂 憲一	特・小学校長会	小学校教育部長	大坪 拓人	けやき坂小学校
	古谷 茂政	PTA 連合会	中学校教育部長	荒木 浩	川西中学校
常任理事	南 朋子	人権関係団体	高校教育部長	大川 幸二	川西明峰高等学校
	藤川 成希	総合センター	進路保障部長	乾 隆人	清和台中学校
	畑中 宏司	緑台公民館	特別支援教育部長	前田 達哉	川西養護学校
	榎本 竜也	教育保育課	行政部長	西山 晋司	教育推進部
事務局長	田中 肇	人権推進多文化共生課	校区人権啓発部長	田中 尚美	久代小学校区
			顧問	矢野 端	元 川西人権協会会長

会長あいさつ

『これからも!』

西垣 通豊

川西市人権教育協議会の活動について、いつもご協力いただきありがとうございます。あらためてお礼申し上げます。

さて、川西市人権教育協議会は昨年度まで川西市からの補助金を基に人権教育・啓発活動をしてきました。しかし、「川西市補助金等の見直しに関する方針」に沿って補助事業の見直しが行われ、組織の位置付けが変わり、今年4月から市の補助事業から市の直接事業として活動を行っています。

ただ、活動方針や活動内容に変わりはなく、1972年5月に川西市同和教育協議会（現、川西市人権教育協議会）第1回総会の開催に向けて尽力してくださった方々、その後の活動にかかわってくださった全ての方々の思いを受け継ぎ、これからも、川西市の人権教育啓発施策とともに、部落差別をはじめあらゆる差別を解消するため、人権について考え深め広げる活動を実践していきます。

人権に関する課題については、インターネットを使っての人権侵害をはじめ日々多くの課題が指摘され、誰もが安心して暮らせる社会への努力が求められています。どうかこれからも皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

新役員の皆さんからのメッセージ

『新役員（副会長）として』

副会長 岡坂 憲一（川西小学校）

私は、今年度より川西市人権教育協議会副会長を拝命しました川西小学校長の岡坂憲一と申します。

私にとっては、人権教育は全ての活動の基盤であり、様々活動が成り立っていると思っています。私は、自分自身の人権感覚を磨くこと、「常に本当にこれでいいのか。」と振り返ることを大事にし、川西市人権教育協議会の一端を担わせていただくことを誇りに持ち、業務を遂行してまいります。

『副会長あいさつ』

副会長 古谷 茂政（PTA連合会）

今年度より副会長を務めさせていただきます古谷と申します。宜しく申し上げます。川西人権協へは川西市PTA連合会より出させていただき、5年目を迎えました。その間に社会はコロナの数年間を経験し、現在の生活、暮らしに必要なルールが大きく様変わりをしたと感じています。出会い、人とのふれあいの場がリモートに依存することもごく普通になりました。今ではリモートでの会議もリアルです。一方、リアルなコミュニケーションに悩む子ども達が増加していることは、新しい社会の課題で、一人のおとなとしても頭を悩ませます。

本会ではより多くの皆さんがこれからも、まず身近に感じてもらえる人権でありたいと思うことから、多くの方々と話し合いができる空間作りとして、様々な年間行事を企画、計画しています。今年度もお仲間をお誘いあわせ、お気軽に人権の学び語りの場にご参加していただきたいと思います。

今後とも川西市の人権教育協議会の活動にご理解とご協力をお願い致します。



『常任理事になって』

常任理事 畑中 宏司 (緑台公民館)

今年度、常任理事を務めさせていただきます、緑台公民館の畑中と申します。

近年、SNS を使用したいじめやヤングケアラーなど様々な子どもたちに関する人権問題が大きな課題となっています。

現在、川西市では、小・中学生及び高校生のみなさんが平等に学習することができるよう、春・夏・冬休み期間中、公民館などの公共施設を自習室として開放しています。冷暖房も完備された環境で、少しでも集中して学習できる場所として、一人でも多くの児童・生徒さんにご利用いただければと思います。

公民館の職員として、地域との連携を深めながら、人権意識の向上を図っていきたくと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

『行政部長になって』

行政部長 西山 晋司(教育推進部)

今年度、行政部長をさせていただくことになりました。川西市教育委員会事務局教育推進部の西山と申します。

行政部会では、市職員や教職員の人権問題に引き続き取り組んでまいります。これまでも人権の尊重や平等の推進に取り組んできましたが、まだまだ課題は残っております。

川西市の人権問題を的確に捉え、計画的な研修を軸にして、人権意識の向上に取り組み、川西市の皆様とともに、より良い社会を築くために尽力していく所存です。そして、私たちの取り組みにより、一人一人の人権意識が向上し、市制70周年のテーマでもある「笑顔つづく未来へ。」が広がっていくことを願っております。

『就学前教育部長になって』

就学前教育部長 松田 亜希子(多田保育所)

今年度、就学前教育部長をさせていただきます多田保育所の松田亜希子です。

子どもの権利について、情報を見聞きすることが多くなっています。今一度、子どもは守られるべき存在であると同時に、権利の主体であること、また、子どもは生まれながらに力をもっており、それを私たちおとながいかにか支えていかなど、教育保育における人権について、部員の皆さんと共に考え、交流を深めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

『高等教育部長になって』

高校教育部長 大川 幸二 (川西明峰高等学校)

今年度、高校教育部長をさせていただきます川西明峰高等学校の大川幸二と申します。

第4期「ひょうご教育創造プラン」では予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進の項目のひとつに「豊かな心」の育成があります。複雑化・多様化した社会において、変化を前向きに受け止めながら、地域や社会、生活、人生をより豊かなものとしていくため、公共の精神、郷土の自然や伝統・文化の尊重、豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、自己肯定感、自己有用感、他者への思いやり、人間関係を築く力、心の危機に気付く力、援助希求的態度等を育み、豊かな人間性を育成することが重要です。これらのことを踏まえ、人権教育の推進に邁進していく所存です。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。



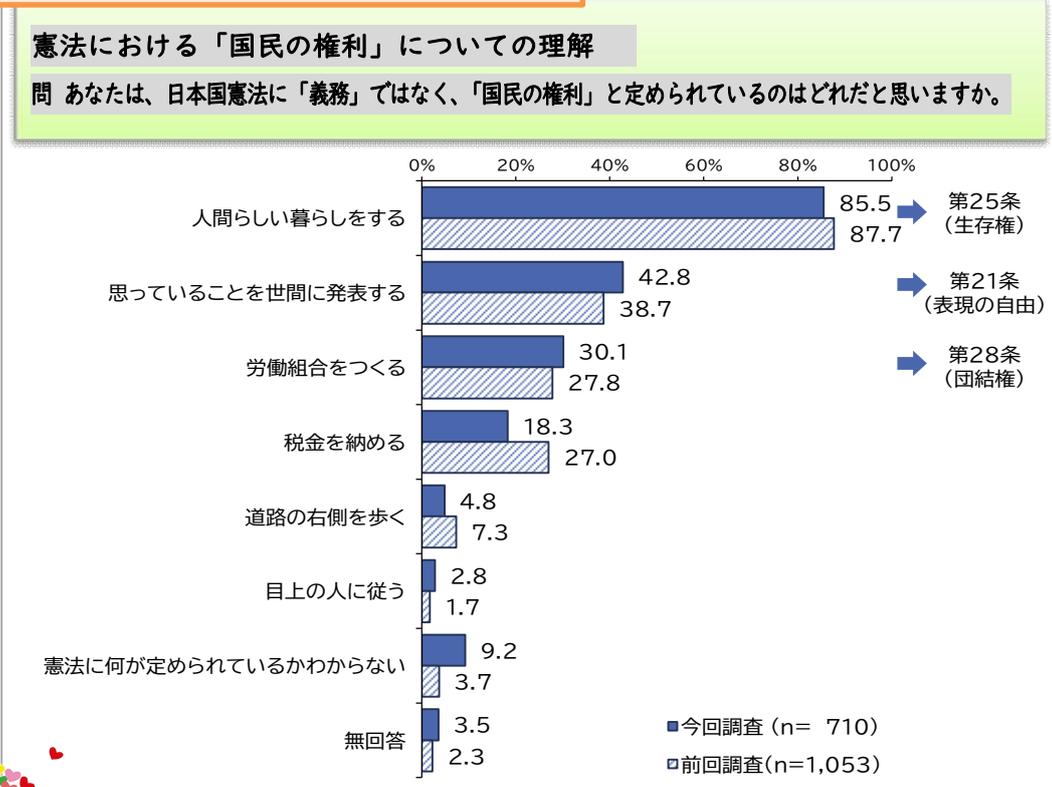
2024年度 理事 一覧表

選出区分	名 前	所 属	選出区分	名 前	所 属
幼・保 ・こども園	松田亜希子 ※	市立多田保育所	行政関係	井上 博文	市長公室
	立花 美貴	市立川西北こども園		田家 隆信	総務部
学校園長	岡坂 憲一 ※	川西小学校		西山 晋司 ※	教育推進部
学校教頭	各専門部長 ※	小・中・進・特		田中 肇 ※	市長公室
高等学校	橋本 幸誠	県立川西緑台高等学校	小学校区 人権啓発推 進委員会	田中 尚美 ※	久代小校区推進委員会
PTA 連合会	古谷 茂政 ※	PTA 連合会		三浦 幸子	加茂小校区推進委員会
	渡邊 藍 ※	PTA 連合会		秋田 修一	川西小校区推進委員会
社会教育 等団体	河北 雅仁	人権啓発サポーター会		中田 鞆子	桜が丘小校区推進委員会
	永田 又嗣	スポーツ推進委員会		後藤 善史	川西北小校区推進委員会
	秋山 洋暁	子ども会連絡協議会		安田 明美	明峰小校区推進委員会
	平田 哲雄	文化協会		福島 美香子	多田小校区推進委員会
	森寺 美由紀	障害者団体連合会		富田 昌宏	多田東小校区推進委員会
	金子 愛	社会教育委員の会		矢野 端	緑台小校区推進委員会
	尾野上一夫	民生委員・児童委員協連		上代 亜耶	陽明小校区推進委員会
	花咲 揚子	民生委員・児童委員協連		松隈 紀文	清和台・清和台南小校区推進委員会
	菅原 和代	老人クラブ連合会		磯部 裕子	けやき坂小校区推進委員会
	五十嵐 富佐子	ジェンダー平等推進市民企画員会		釜本 邦博	東谷小校区推進委員会
加茂 千穂子	部落解放同盟川西支部	西村 美栄		牧の台小校区推進委員会	
角 清子	部落解放同盟川西支部	黒田 みち		北陵小校区推進委員会	
企業関係	佐谷 靖	川西市商工会		※印 = 常任理事兼務	

1年間 よろしくお願ひいたします。



2023年「川西市人権問題に関する市民意識調査結果報告書」より



前回調査（2013年）と比較すると、正答率は、総じて少し上がっていますが、一方で「何が定められているのかわからない」の回答も増えています。

夏の学び①

第71回阪神地区人権・同和教育研究大会

猛暑の中、7月27日(土)に伊丹市立南小学校で阪神大会が開催されました。
参加者は約940人、川西市からは役員も含め約90人が参加しました。
17の分散会で討議がなされ、川西市からは4本の実践報告をしていただきました。

報告者、役員の皆様、おつかれさまでした。



- ◆就学前教育部会 小戸保育所 園部 葵さん・大橋 由美子さん
「一人一人を大切に作る保育をめざして ～異年齢の関わりの中で育ち合う保育の工夫～」
- ◆小学校教育部会 川西小学校 伊瀬知 由起さん・岸上 亜沙美さん
「偏見や差別に気づき、自ら行動する子どもを育てる」
- ◆進路保障部会 清和台中学校 穴迫 洋美さん
「校内サポートルームの取組について」
- ◆高等学校教育部会 川西北陵高等学校 山崎 寛之さん
「令和5・6年度の人権学習の取組について」



〈参加者の感想より〉

■教職員の方が多く参加されている分散会に参加したため、リアルな現場の声を聞くことができ、非常に良い経験となりました。とても良い大会だったので、もっと多くの方に参加してほしいと感じました。猛暑だったので、会場の立地はとても重要だと感じました。

■報告者も司会もよく頑張っておられて、多くの意見が活発に出され、阪神間の情報交換ができたと思う。また各分散会ごとの参加人数が適切に管理されており、人があふれかえるということはなく、この点非常によかった。また各教室にはエアコンがあり、快適に参加することができた。

■報告は各園の大切にしていることがよく伝わった。他市の状況も聞きながら、保育所、こども園、幼稚園の特徴もふまえた話し合いで有意義な時間を持てた。

■時代とともに変化していくものと、変えてはいけないことと、様々ある中で、自分の感覚をアップデートしつつ、差別の方向へ向かっていないか、狭まっていないか、確認する機会を与えてもらっていると感ずます。たくさん学びがありました。

■グループ討議が、5自治体、学校や保育所の先生、事務職員の方、地域人権と多種にわたり、いろいろなお話しが聴けたことが良かったです。

■人権教育が受け身の教育でなく、能動的な積み重ねになってほしいと切に感じました。素晴らしいカリキュラムで、こどもや教師・職員が育っているか。弱い立場、少数の立場から学び、寄り添い本来の差別のない社会を目指す人権教育になっていくか。これからも、しっかり取り組んでいきたいと思ひます。

■他市の現場の話を知ることで、非常に勉強になった。自分の保育の振り返りや参考にして次の保育を考える手立てとなったり、いろいろな立場の人と話をすることでいろいろな視点に気づくこともできた。小学校の先生の話も聞けてよかった。

■性の多様性や人権学習における実践発表の内容がとても興味深く、自校でも取り入れていきたいと思ひました。意見交流でも他市、他校、異校種の取り組みを聞くことができたので、今後の活動に生かしていきたいです。

夏の学び②

2024年度 合同研修会

『川西市の人権教育・啓発の課題』

～川西市人権問題に関する市民意識調査からみえてきたもの～



8月26日(月)、川西市総合センター3階体育室で「川西市人権教育協議会・合同研修会」を開催しました。講師に関西大学名誉教授 石元清英(いしもときよひで)さんをお招きし、ご講演いただきました。

教育委員会との共催として実施し、人権教育に携わる多くの教職員の方々にとっても学ぶ機会となりました。参加された皆様からも「意識調査結果の数値から川西市の人権課題が見えてきた」との感想を多数いただきました。

石元さん、ありがとうございました。

【参加者の感想より】

- ◆人権、部落問題についての認識や知識が20代は低いという結果を見て、確かに私自身も曖昧にしかわかっていないと改めて感じました。正しい知識、正しい理解をすることで人権問題等に正しく向き合うことができると感じました。
- ◆長年大阪市で教師をし、人権研修もたくさん受けていましたが、現在の課題や方向性を再確認させていただきました。
- ◆正しい知識を伝えること、また善悪を見抜く力をつけさせることが大事だと感じました。学校での人権教育だけでなく、社会全体で取り組んでいく必要性を感じました。
- ◆人権のみならず、教育には必ず説得力を持たせないといけない、という点ではよく理解できたし、よい資料だったと思う。ただ、ではこれからどのようにしていけばよいか、については、各自の判断に委ねられる内容だった。その議論を、全体で行うことに意義があると思う。
- ◆人権意識の向上が見られたのはいい傾向であるが、10代の若い人の先祖帰りとも言える傾向が気になった。
- ◆10年前と比較して、川西市市民の人権意識がどう変わったのか、男女、世代別にデータの考察をして説明していただき、よく分かりました。
- ◆調査結果を数値で並べることで、人権意識の向上や若い世代の自己責任論に依拠した回答傾向があることがよくわかりました。
- ◆大変分かりやすく聞きやすかったです。たくさん課題があることが分かり、学校現場での取組を考えていかなければいけないと思いました。教員の中でも部落問題学習についてよくわからないという意見もあるのでこの研修会の資料をもとに話し合ったらと思います。
- ◆恥ずかしながら私自身が義務のことなど誤解していることに気づかされました。親世代が間違った情報を持って子育てをすることで、子どもたちにも誤解を生むことになるのではないかと、少し不安を覚えました。どの年齢になっても人権について学ぶことの大切さも感じました。会場の方からの「今の子どもたちは学ぶことが多い」という言葉にもはっとさせられました。どのような教育をしていくのか、おとなが考えていく必要性を感じました。

研究大会 案内

●第75回全国人権・同和教育研究大会

◆日時 11月30日(土)～12月1日(日) ◆場所 熊本県、福岡県、鹿児島県

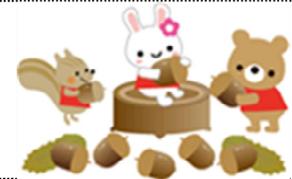
参加希望のかたは、各小学校区人権啓発推進委員会委員長さん、または川西市人権教育協議会事務局までご連絡ください。詳細は、全国人権教育協議会のHPをご覧ください。

●第37回川西市人権教育研究大会

◆日時 2025(令和7)年2月7日(金) ◆場所 アステ市民プラザ

開催時刻や内容などにつきましては、後日お知らせします。

川西市 人権啓発行事



●川西市人権週間映画会(無料)

◆日時 2024(令和6)年12月15日(日) ◆場所 アステ市民プラザ アステホール

●人権を考える市民のつどい

◆2025(令和7)年2月8日(土) ◆場所 キセラ川西プラザ キセラホール

募集

「じんけん写真コンテスト in かわにし」 に参加してみませんか

※締め切り
2024年10月10日(木)

写真の作品を募集しています。あなたの身近な景色や暮らしの中で、心温まる姿や風景など「人権」にまつわる写真を写してみませんか。

応募方法など詳しくは、市のホームページをご覧ください。★ホームページはこちらの2次元コードから



■過去の優秀作品
「百歳のおばあちゃんのとうもろこし」



■過去の最優秀作品
「いつまでも 手をとりあって」

お知らせ



2024年度 現地人権学習会について

- 12月17日(火) 京都方面① 耳塚・ウトロ平和祈念館(北コース)
- 12月20日(金) 京都方面② 耳塚・ウトロ平和祈念館(南コース)

川西市役所から大型貸切バスで行きます。各コース、それぞれ35名の参加者を募ります。詳細につきましては、各小学校区人権啓発推進委員会委員長さんにお知らせします。参加希望の方は、各小学校区委員長さん、または川西市人権教育協議会事務局までお申し込みください。

★「ウトロ平和祈念館」

京都府宇治市ウトロの歴史の継承と交流のため、2022年4月にオープンした平和祈念館。第2次世界大戦時に、京都飛行場建設のために集められた朝鮮人労働者たちの飯場(はんば)跡に形成された集落、ウトロ地区。戦後、様々な事情により朝鮮半島に帰ることのできなかった人々が暮らすこの地区は生活インフラ整備からも取り残され、社会の無理解と偏見、差別に苦しめられました。

その歴史を通じて、在日コリアンの歴史と人権について学びます。

(※館内見学・周辺フィールドワークともにガイドの説明あり)

人権啓発 DVD を貸出します!

人権啓発 DVD「大切なひと」を鑑賞しました



第54回川西人権協定期総会で鑑賞したDVDは、兵庫県人権啓発ビデオ「大切なひと」でした。この作品は、「ネット社会における部落差別と人権 ～誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして～」をテーマとしています。

インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として制作されました。

物語は大学生の若者の視点から描かれており、無知や自己中心的な考えが、悪意はなくても多くの人を傷つけてしまうという状況が、こんなに身近に、そして簡単に起ってしまうのだと考えさせられる作品です。

鑑賞後には、小学校区や職場、学校など多くの皆さまにご利用いただいております。人権推進多文化共生課で貸し出ししておりますので、各地域や職場での人権研修会等で、ご活用ください。お電話をいただければ、予約することができます。(TEL 072-740-1150 人権推進多文化共生課)

【編集後記】

今から50年以上前、1972年2月「川西市同和教育協議会」が結成され、これまでに川西市の人権教育・啓発活動を行政とともに進めてきました。

当時、私は川西中学校に通っていました。先生方の手作りの教材や日本国憲法の学習で人権を学んだ記憶があります。やんちゃな同級生もいましたが、体育祭や文化祭では大盛り上がりの賑やかで楽しい学校生活でした。

その後、私は縁あって川西市の学校に勤務さ

せていただくことになり、その頃は、人権同和学習がとても盛んに行われていました。川西市総合センターに実践報告を持ちよって、研修を行っていたのが懐かしいです。

また、平和学習や性教育、男女平等など教科以外の様々な学びを自分たちで考え行うきっかけはこの同和学習でした。

時代が変わっても人権について学び続けることの大切さは変わりません。私自身が学び続けていかなければと改めて思う今日この頃です。

(事務局)